　　　　　　　　　　　　　　第22期事業報告書

　　　　　　　　（2022年4月1日～2023年3月31日）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　特定非営利活動法人札幌VO

**１.事業の実施方針**

※フェアトレードを中心に販売実習を行い青年が社会との関わりをより多く持てるようにする。

※音楽による人づくり・まちづくりを推進する。

※フェアトレード商品の紹介販売など国際協力活動に力を入れる。

**２.事業の実施に関する事項**

（１）特定非営利活動に係る事業

●社会貢献事業

【フリースクール】国際協力、フェアトレード販売活動、国際協力

【スタッフ・ボランティア体制】常勤1名・非常勤3名

【目標】　物販活動でプログラムに必要な経費を自分たちで捻出しながらプログラムを進めて行く。

　　　　　フェアトレードタウンの一員として国際協力活動に力を入れる。

【活動】　① 青年らの自主的活動を支援する。

1. 札幌市の施設、地域との協力関係を大事にしてする。

**報告**

コロナが収まりフェアトレード販売はコロナ前に近い状態で一年を終えました。

2004年から始まったVOの区民センターでのフェアトレード販売は19年目となり、札幌市が2019年にフェアトレードタウンとなり、最近は児童労働や難民、開発途上国などに対する関心を持つ方も少しずつ増えフェアトレードへ関心の高さを感じるようになりました。国連UNHCRへの難民支援も少しずつですができる状態となりました。コロナの終息と共にイベントも再開し数年ぶりに販売ができた一年となりました。また販売活動活動に従事していた青年の就職が決まり長きに渡った社会体験プログラムの一つが終了しました。『自主的に動き行動する』VOのプログラムにご協力いただいた札幌市の施設や地域には大変感謝しております。

●文化・芸術の振興事業

【目標】　音楽等を通して地域社会を活性化するよう活動する。

【活動】　①　小学生から大人まで幅広い年齢層が参加できる環境づくりをする。

②　地域の祭り、イベント等での繋がりを大事にし、ライブ活動を行う。

**報告**

　　　　　年齢性別問わず参加型の音楽『月一回開催ライブ』は大盛況の中一年を終えました。ほぼVOの設立と共にスタートした何でもありの誰でも参加型のライブは25年を迎え、少しずつ形を変えながら今では人が人を呼び、多くの音楽好きが集まるプログラムとなりました。セッテイングや音響、黒板に書く出演者の名前も得意な人が携わりそれぞれ楽しく役割をはたしています。責任を持てるリーダーがいることでこれが実行できていることを感じます。

●地域文化振興とまちづくり事業

【目標】　VO-lunch新聞の発行で地域との連携を図る。

【目標】　①　地域のニュースやイベント、VOの活動の様子などを中心に作成。

町内会、商店街、物販等で配布する。

**報告**

　　　　　月一回発行している新聞は活動ニュースを中心に発行されました。エルプラザ市民活動サポートセンターや本郷通商店街に配布しなるべく多くの人の目に留まることを考え配布しました。コロナ以降イベントが激減しニュースが減る中、頑張った一年だったと思います。

●その他の事業　なし